

## アロマコーディネーター講座レッスンテキストブック内容変更（第6 8版）

2012年8月1日発行の第6版より、このたび2013年6月1日発行の第8版にて、以下変更点がありますので、ご案内いたします。

ページ	変更内容
P 1	Lesson1 表紙 「アロマコーディネーター」の定義を追加（内容はテキストを参照ください）
P 15	（6）抽出方法ごとの主な精油の分類表 有機溶剤法（溶剤抽出法）に ネロリ、ローズ（アブソリュート） を追加
P 20	最下部の欄外の注釈 「 性質欄の不乾性・半乾性・乾性とは・・・」を全文削除 前回の校正もれです
P 21	グレープシードオイル 説明文 他の植物オイルに比べてトコフェロールを多く含むため酸化しづらいオイルです。  微量成分中に含まれるビタミン E には抗酸化作用があり、グレープシードオイルには他の植物オイルに比べて多く含まれています。 に変更
P 31	7.トリグリセリド 7.植物オイルに含まれる脂肪酸について に変更  説明文を変更  私たちがトリートメントに用いるホホバオイル以外の植物オイルは、3つの脂肪酸とグリセリンが結合した脂質（トリグリセリド）です。 脂肪酸には大きく分けて飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸の2種類があり、それぞれ性質が異なります。
P 32	パルミトレイン酸 を追加  パルミトレイン酸 ヒトの皮脂中に含まれる脂肪酸で加齢と共に減少します。皮膚や血管への活性効果と皮膚の柔軟性を保つ働きがあります。
P 42	<手順2：精油をブレンドする> 5行目 O-リングテストを用いると現在のあなたにぴったり合ったローションが作れることでしょう。  アレルギーテストを参考に、あなたにあった精油を選びましょう。 に変更

P50	<p>3.香りの流れをおさらいしてみましょう の模式図を変更し、右側の説明文も追加</p> <p>「梨状皮質」より先は既存の内容と同様です</p>
P 70	(3) ミイラ作りのシダーウッドを シダーウッド (アトラス) として特定
P 75	<p>(6) アロマセラピーの進歩 (16 世紀) 3 行目 「本草綱目」 「本草綱目」 3 文字目の「網 (アミ)」 「綱 (ツナ)」</p>
P 76	<p>(9) 化学薬剤の発達 全文を以下に変更</p> <p>17 世紀になると錬金術が懐疑的となり、無機化学が発達し始めました。一方、有機化学が誕生したのは 19 世紀初めで、モルヒネやカフェイン、キニーネ、ニコチンなど、さまざまな植物塩基 (アルカロイド = 植物由来の含窒素化合物) が抽出されるようになりました。</p>
P 84	<p>3. 各々の危険性について</p> <p>3. 各々の安全性について に変更</p>
P 90	<p>(5) 光感作 (光毒性) を (5) 光感作 (6) 光毒性 の 2 つに分類</p> <p>(5) 光感作 定義 感作 (アレルギー) を持つ成分を体内に取り込んだ後に、紫外線に当たることで示すアレルギー反応をいいます。アレルギー反応なので、塗布した皮膚以外にも症状があらわれることがあります。また、少量でも反応が出ることがあります。</p> <p>(6) 光毒性 定義 精油を皮膚に塗り、紫外線に当たることで起こる皮膚の炎症をいいます。精油を皮膚に塗っただけでは起きませんが、紫外線のエネルギーを吸収した成分が、皮膚に色素沈着や炎症反応などを起こします (基本的に塗布した部分のみに反応が出ます)。ひどい場合には発ガン (光発ガン) のおそれがあります。</p>

P 96	<p>&lt;手順2：精油をブレンドする&gt; 3~4行目 O-リングテストを用いると、現在のあなたにぴったり合ったマウスウォッシュが作れることでしょう。</p> <p>アレルギーテストを参考に、あなたにあった精油を選びましょう。 に変更</p>
P 129	<p>&lt;準備するもの&gt; 1~2行目 無水エタノール 30cc、ミネラルウォーターまたは精製水 20cc</p> <p>無水エタノール 12cc、ミネラルウォーターまたは精製水 8cc に変更</p> <p>50ccの空容器（ローションで一度使ったもの）</p> <p>20ccのスプレー付き空容器 に変更</p> <p>&lt;手順1：60%のアルコール水を作る&gt; 1行目 20 cc測り</p> <p>8 cc量り に変更</p> <p>&lt;手順2：精油をブレンドする&gt; 2行目 合計 40 滴 合計 16 滴 に変更</p>
P 129	<p>エアーフレッシュナーの使い方 1~2行目 直接肌に付けるのではなく、カーテンやテーブルクロス、ナプキン、クッションなどお部屋の小物に付けましょう。またマウスウォッシュ用の容器に移しかえてスプレーしてもよいでしょう。</p> <p>直接肌に付けるのではなく、空間にスプレーするか、カーテンやテーブルクロス、ナプキン、クッションなどお部屋の小物に付けましょう。 に変更</p>
P 140	<p>&lt;手順2：精油をブレンドする&gt; 2行目 (今回は25%で香水を作ります) を削除</p>
P 141	<p>図の右側 精油 25 滴 精油 20 滴 に変更</p>
P 147	<p>アルデヒド類 の〔主な成分〕 を変更</p> <p>アニスアルデヒド、シトラール（ゲラニアル、ネラール）、シトロネラール、クミンアルデヒドなど</p>
P 155	<p>精油の禁忌を示す成分 の 説明文を変更</p> <p>Lesson 1 3 で学習したファミリーごとの成分を・・・</p>

以上、お手元での追記・修正をお願いいたします。

平成 25 年 6 月 1 日  
J A A 事務局